

## 経営方針と対処すべき課題（有価証券報告書より）

## ① 目指す姿と数値目標

## 経営の基本方針

土木・建築構造物の基礎工事を通じ、上部構造物を利用されている全ての方々に「安全」「安心」をお届けすること

売上高  
270億円

経常利益  
15.00億円

ROE  
8.0%

配当方針  
2%以上

## ② 中長期の経営戦略

## 1. 事業別戦略

土木事業は防災・減災・国土強靱化対策、建築事業は複合提案推進、海外事業はベトナム基礎技術拡大、コンサルティング事業はカスタマーソリューション高度化

## 3. 環境・デジタル戦略

基礎工事のカーボンニュートラル実現、DX推進による業務効率化と省力施工

## 2. 開発戦略

保有技術の高付加価値化、施工管理装置VCCSの全工法展開、社会・環境問題への技術開発、現場施工自動化対応

## 4. 経営基盤強化

安全・品質管理、収益力強化、施工体制増強、ガバナンス強化の4つの重要課題を実践

## ③ 対処すべき課題

## ① 経営環境への対応

- ・建設資材価格高騰と人手不足への対策
- ・地政学リスクと物価高騰への対応
- ・投資計画延期・見直しの懸念に対応

## ② 収益性向上

- ・ROE8%以上を目指したエクイティスプレッド確保
- ・営業C/Fと手元資金の戦略的な投資・株主還元配分
- ・重要戦略実行を通じた利益増加

## ③ サステナビリティ経営

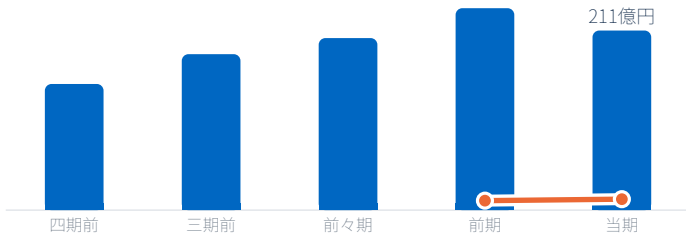
- ・100年企業を目指した長期ビジョン実現
- ・リスク管理強化とガバナンス徹底
- ・脱炭素社会への技術開発と対応

## 面接で使えるポイント

- ・基礎工事のリーディングカンパニーとして、防災・減災・国土強靱化への構造技術提案が重点分野。
- ・2024-2026年度中期経営計画で5つの重要戦略を推進。ROE8%以上達成を急務と位置づけ。
- ・ベトナム事業拡大やコンクリートパイル事業のバリューチェーン構築で海外成長を加速。

証券コード 1905

業績の推移（売上＝棒／営業利益＝線）



※営業利益は直近2期のみ開示（有報の様式変更による）

暗記する数字3つ

連結売上高  
211億円営業利益率  
6.1%財務健康度  
50点 / 100点

将来性 晴れ / 就活偏差値 59.8（当サイト算出の参考指標）

平均年収  
747万円

建設業内 89位/140社

平均年齢  
44.7歳

建設業内 33位/140社

平均勤続  
14.4年

建設業内 94位/140社

女性管理職  
2.1%

建設業内 79位/112社

男性育休  
100.0%

建設業内 22位/104社

※平均年収は提出会社単体・有価証券報告書ベース。順位は同33業種内の掲載企業での比較。

ここから下は自分で書く（面接で話すこと）

志望動機の核

上の数字・事業と接続して書く

自分の経験との接点

逆質問メモ

※1つはデータ起点で（例：勤続年数が長い要因は…）

直近ニュース十一言

参考: (株)テノックス【1905】：決算情報

